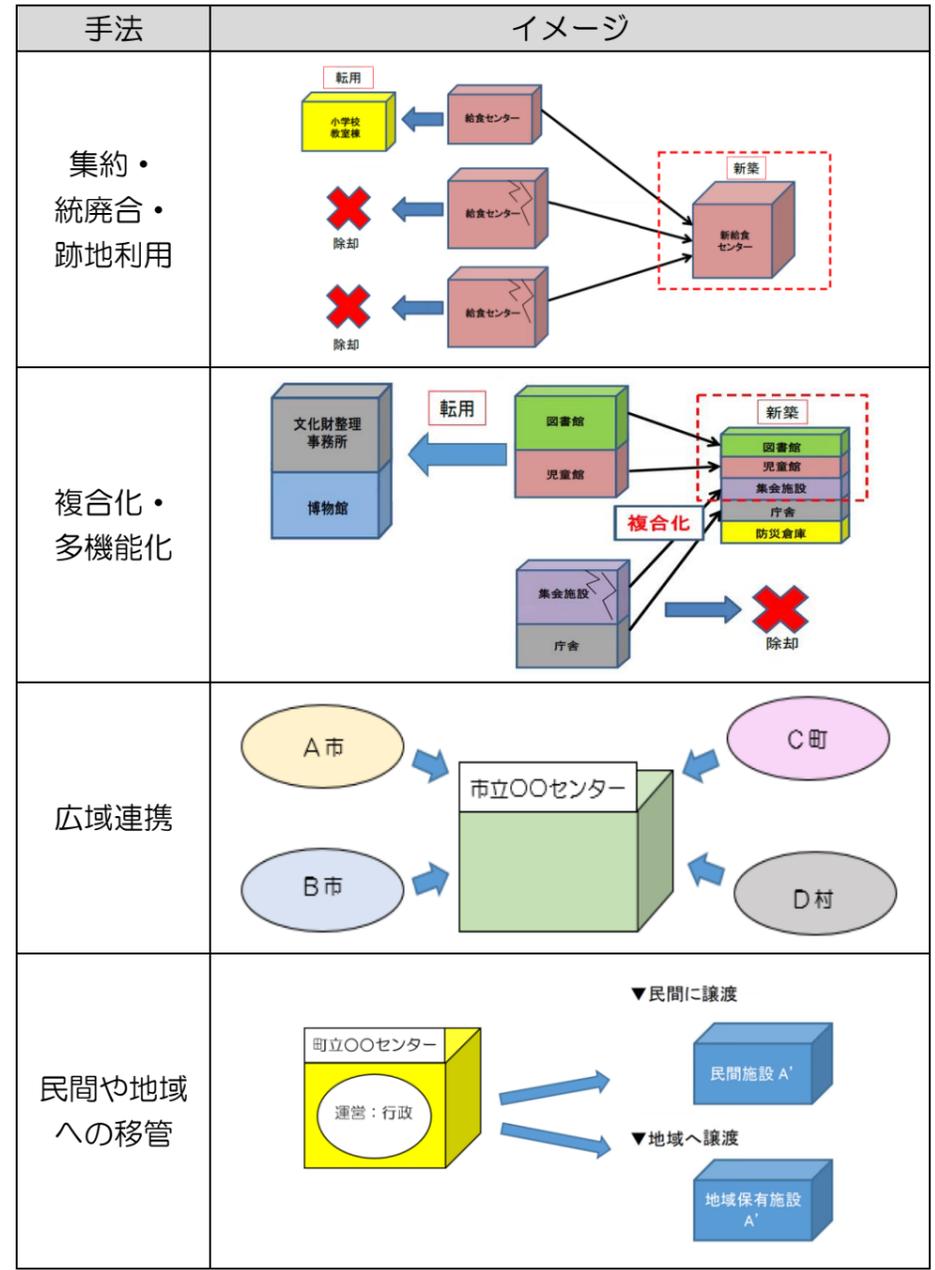




1 公共施設再配置の手法などについて

グループワークに入る前に、再配置の手法について整理し、再配置のポイントをお伝えしました。

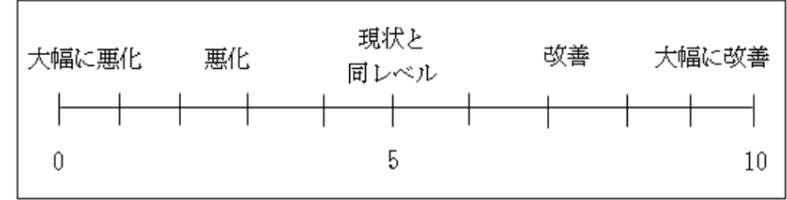


2 再配置の評価について

グループワークの最後に、再配置案について各チームによる発表を行います。その発表を基に評価を行います。どのような項目で行うのか、現時点の内容をお伝えしました。

- ①交通利便性 ②サービスや機能 ③面積削減率
- ④コストの削減率 ⑤災害リスク ⑥多様性 ⑦持続可能性
- ⑧他施設の代替性 ⑨跡地利用の妥当性

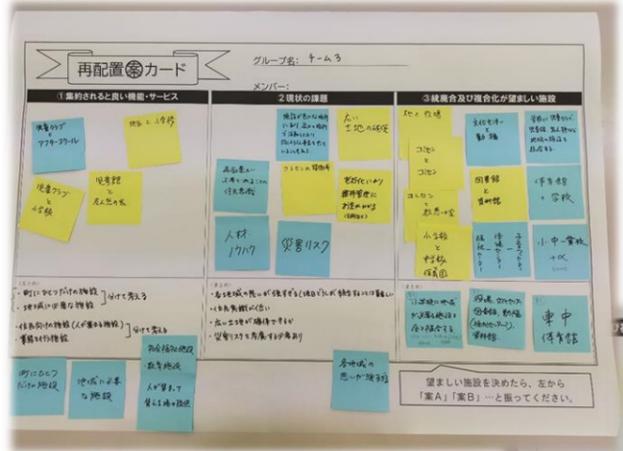
10段階で行います。



3 グループワークについて

グループワークを開始しました！目標は、統廃合や複合化する施設を固めることでした。

☆☆作業の例☆☆



集約されると良い機能・サービスは何か。また、その理由は何かを考えました。



統廃合や複合化ができる施設と、そのメリットとデメリットや理由を考えました。

このように、どの施設を統廃合するのか、または複合化するのかを考えるために、機能やサービス面から考えていくことが大切です。さらに、将来にわたって持続可能な施設にすることも大切であることから、次回は、施設を統廃合するとどのくらい面積が削減できるのか、維持管理や更新に係るコストがどのくらい削減できるのかを考えていきます。



第3回
プロジェクト
チームの様子



～公共施設再配置「案」を作る目的～

将来にわたって、持続可能な施設のあり方を考えるため、令和4・5年度に公共施設再配置計画を策定する予定です。再配置計画を策定するために、職員の考えをまとめた案を、検討材料の1つとして活用するものです。